

# 稲東だより

稲沢東高等学校生徒会  
平成 23 年度第 5 号  
平成 23 年 1 1 月

## 新キャッチコピー決定

昨年、11月10日に「創立40周年記念式典」を開催してから、早いものでもう1年経ちました。創立40周年を迎えるにあたって「母校の誇りを稲東生」をキャッチコピーに決定し、母校に対する誇りをもう一度再確認しようと呼びかけました。今年、新たなステージへと進んだ稲東にふさわしいキャッチコピーを募集したところ、全校生徒から321通の応募があり、その中から、3年生の櫻井 彩花さんの「一步一步前へ～バトンをつなげ稲東魂～」が最優秀賞に選ばれました。新たなステージでは先輩から後輩へバトンを受け継ぎ、一步一步前へと前進して行ってほしいという願いが込められています。

その他の受賞作品

- 優秀賞 「NEXT STAGE ～走り出せ、稲東生」  
2年 森 理紗
- 優秀賞 「未来に輝け 稲東生」  
2年 岩田 香苗
- 佳作 「無限の可能性 稲東生！」  
3年 山内 悠暉
- 佳作 「全速前進 稲東生」 2年 鈴木 雅之
- 佳作 「輝け！希望の光！稲東生」 1年 遠山 雄太



## 新生徒会役員決定

10月6日に後期生徒会役員選挙立会演説会を実施しました。生徒会役員に6名が立候補しました。会長立候補者の2名は「卒業式・球技大会などの行事を盛り上げたい、来年度の稲東祭が自分にとって最後になるので素晴らしいものにしたい」「地域に貢献できる学校になるために清掃活動などのボランティア活動に力を入れたい」と自分たちの考えをしっかりと述べ、とても堂々とした演説を行いました。生徒たちも立候補者の演説をしっかりと聞き、投票に臨んでいました。

新生徒会役員

- 会長 2年 西岡 拓真  
副会長 2年 櫻木 俊介  
書記 2年 栢 さとり  
書記 2年 須原 由衣



## 福祉実践教育を行いました。

11月10日(木)、本校1年生を対象に、社会福祉協議会の皆さんの協力を得て福祉に関わる体験教室が実施されました。手話、車いす、要約筆記、点字、盲人ガイド等のコースに分かれ実際に疑似体験をすることによって、高齢者や体の不自由な人のことを身近に感じ、優しい町づくりの在り方を考えるよい機会になりました。



## 「はやぶさ」の講演会に行ってきました。

10月31日、一宮市で行われた一宮高校主催の講演会に2年6組の生徒が参加しました。講演者は小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトマネージャー、JAXAの川口淳一郎先生です。「はやぶさ」は技術立国日本にとってとても心強い存在です。講演は、川口先生をはじめとする技術者の強い魂と誇りを感じさせながらも、時折ユーモアを交えながら話が展開されたので生徒も引き込まれていきました。

「高い塔を建ててみなければ、新たな水平線は見えてこない。」「この道より我を生かす道なし、この道をゆく」「個性的・独創的な人材を育成していくことが大切」など多くのメッセージや人生へのエールをいただきました。



## 進路講演会を実施しました

10月27日、2年生を対象として進路講演会を実施しました。進路実現のための講演会は年間数回予定されています。今回の講演会は生徒自身が進みたいと考えている道についてより深く理解するために大学進学希望者は文学・法学・理学など、専門学校進学希望者は看護・理容などに分かれて具体的な話を聞きました。自分の進路実現のためにとっても真剣に生徒たちは話を聞いていました。



保育を学ぶことについて、どれだけ厳しいかなどがよくわかった。また、就職について、資格の違いについてよくわかった。保育士の仕事も少し良いかなと思った。

山北 尚

あいさつの勉強をしました。面白い先生でとても興味が持てました。オープンキャンパスに行きたいと思いました。

澤田 侑奈

とてもためになった。進路だけではなく、若干人生観も変わったような気がした。働くのは少し恐ろしいが、前向きに考える大切さを教わった。

横井 建祐

## 南緑町の防災訓練に参加しました。

本校の南側に位置する南緑町で10月23日に防災訓練があり、本校の生徒も参加しました。今年は東日本大震災があり、防災にとっても関心がもたれている中で行われました。訓練では避難経路の確認、消火栓の利用方法などを行いました。東海地震はいつ起こるか分かりませんが、必ず起こると言われています。その時、高校生がリーダーとなり災害復旧に一役買う事ができたらとても素晴らしいと思いました。

